

熊本地震の地理空間分析を元にしたグリーンインフラの検討

九州大学大学院芸術工学研究院

藤田直子

2016年4月に発生した熊本地震では、益城町・西原村・南阿蘇村を中心とした各地域が甚大な被害を受けた。今後復興計画の検討が進められるが、長期的視点に立つと中小規模の自治体が抱える高齢化や人口減少や財源不足という諸問題に対応した計画でなければならない。本研究では、地理空間分析を元にしたグリーンインフラの枠組みでこれらを検討することを目的とし、自然環境の有する機能を有効に活用した、自然環境・経済・社会にとって有益な社会資本整備を検討する。